

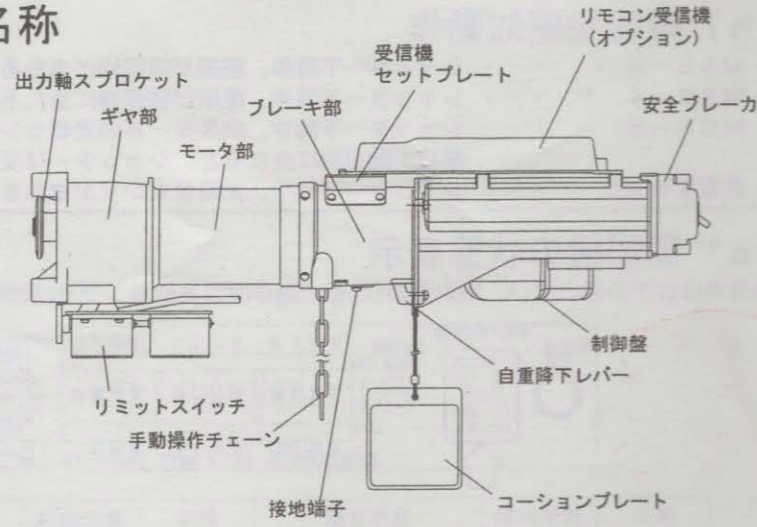
電動シャッター モートW型 開閉機取付説明書

型式 : EGM-15SG2
EGM-18GT2
EGM-25GT2 / 25SG2
EGM-50GT2
適用電源 : AC100V(50/60Hz)

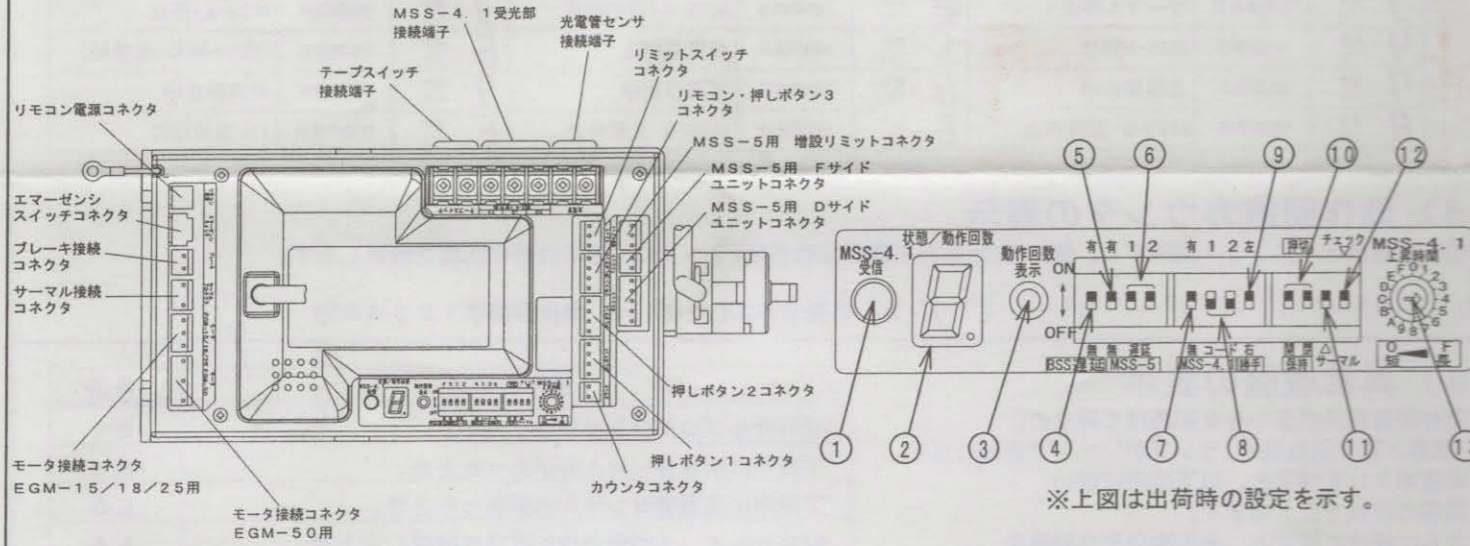
BX 文化シャッター

1) 梱包内容および開閉機各部の名称

- 開閉機 1
- エマーゼンシスイッチ 1
- エマーゼンシ取付板 1
- 十字穴付きなべダブルセムスねじ M4×6 2
- 樹脂キャップ (EGM-15SG2/25SG2) 1
- シャフトカラー (六角止めねじ・ナット付き) 1
- 十字穴付き六角ボルト M8×45 (EGM-15/18/25) 4
- 十字穴付き六角ボルト M10×25 (EGM-50) 4
- 平座金 M8 (EGM-15/18/25) 4
- 平座金 M10 (EGM-50) 4
- パネ座金 M8 (EGM-15/18/25) 4
- パネ座金 M10 (EGM-50) 4
- 押しボタン線 (6心) 1
- ジャンパ用コネクタ (制御盤に付属) 2
- 取付説明書 (本紙) 1



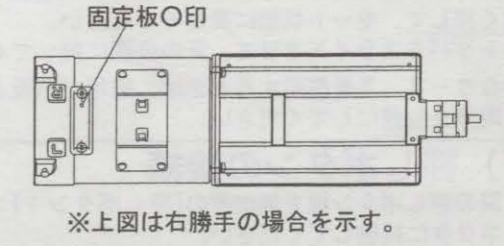
2) 制御盤各部の名称



- ① MSS-4. 1 受信ランプ
MSS-4. 1 送信機からの信号を受信したとき点灯・点滅します。
- ② 状態/動作回数表示ランプ
開閉機の動作状態、動作回数カウンタ、異常履歴の表示を行います。
- ③ 動作回数表示ボタン
動作回数カウンタ、異常履歴の表示を行う際に押します。
- ④ BSS遅延設定スイッチ
光電管センサの遅延時間(1秒)を設定します。
- ⑤ MSS-5切り替えスイッチ
MSS-5使用の有無を設定します。
- ⑥ MSS-5遅延設定スイッチ
MSS-5光電センサの遅延時間(0.2秒/0.5秒)を設定します。
- ⑦ MSS-4. 1切り替えスイッチ
MSS-4. 1使用の有無を設定します。
- ⑧ MSS-4. 1コードスイッチ
MSS-4. 1を使用する場合の送信コードを設定します。
- ⑨ 左右勝手切り替えスイッチ
開閉機の左右勝手を設定します。
- ⑩ 自己保持/押し切り切り替えスイッチ
開操作、閉操作における自己保持の有無を設定します。
- ⑪ サーマルプロテクタ無視スイッチ
電源投入後1分以内にONにすると、1分間サーマル入力を無視します。
- ⑫ 入力チェックモード切り替えスイッチ
電源投入後1分以内にONにすると、入力チェックモードに切り替わります。
- ⑬ MSS-4. 1上昇時間設定スイッチ
MSS-4. 1を使用する場合の反転上昇時間を設定します。

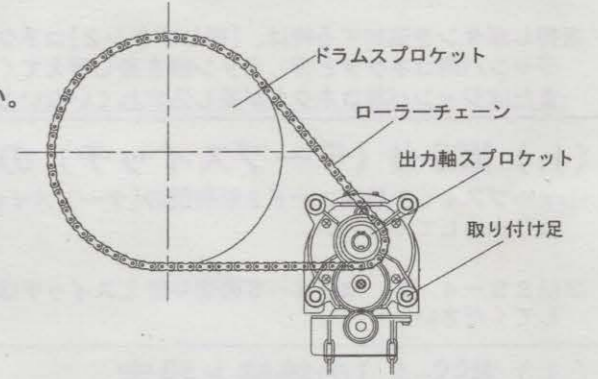
3) 取付方法

開閉機取り付け前に次の項目を確認してください。
 ・ブラケットが躯体に頑丈に取り付いており傾いていないこと。
 ・ローラーチェーンがドラムスプロケットにかかっていること。
 ・EGM-25GT2/25SG2/50GT2の場合は、ブレーキ部の固定板O印が左右勝手に合わせてあること。
 (右勝手の場合はO印を”R”側に、左勝手の場合はO印を”L”側にセットしてください。)



(a) ブラケットへの開閉機取り付け

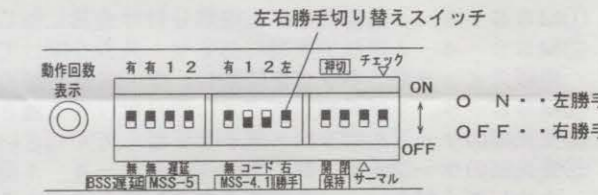
- ① 開閉機の出力軸スプロケットに、ローラーチェーンを掛けて下さい。
- ② 同梱の六角ボルトを用い、平座金、パネ座金をはさみ確実に締め付けてください。
- ③ 手動操作チェーンを束ねている針金を外してください。



※手動操作チェーンを引っ張り、ドラムスプロケットが回転することを確認してください。
 (EGM-15SG2/18GT2は開方向、閉方向のどちらにも回転できます。EGM-25GT2/25SG2/50GT2は開方向のみ回転できます。)
 ※取り付け足がローラーチェーンの内側にあることを確認してください。

(b) 左右勝手の設定

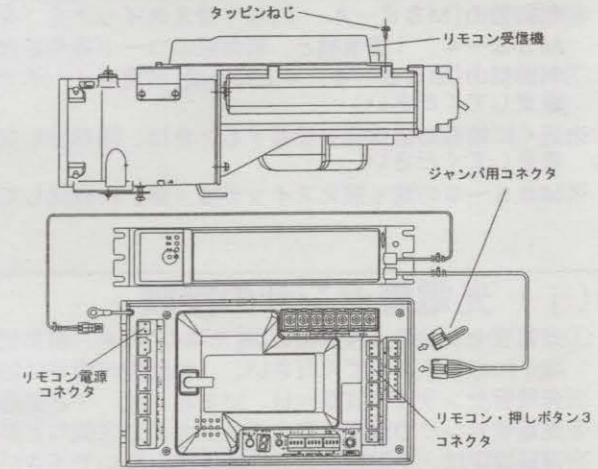
- ① 制御盤の[左右勝手]切り替えスイッチを開閉機の勝手に合わせて設定してください。



※ 押しボタン線の入れ替え等は必要ありません。

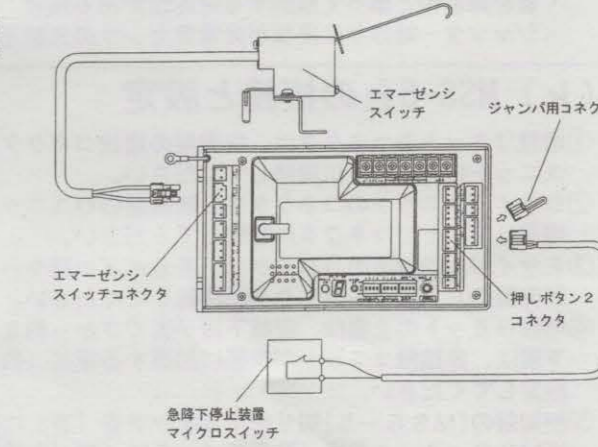
(c) リモコン受信機の接続 (オプション)

- ① リモコン受信機を受信機セットプレートに差し込み、片側をねじ止めしてください。
 - ② 制御盤の[リモコン・押しボタン3]コネクタに差し込まれているジャンパ用コネクタを外してください。
 - ③ リモコン受信機の制御線を[リモコン・押しボタン3]コネクタに接続してください。
 - ④ リモコン受信機の電源線を[リモコン電源]コネクタに接続してください。
- ※ [押しボタン1]、[押しボタン2]、[リモコン・押しボタン3]コネクタはいずれのコネクタを使用してもかまいませんが、使用しないコネクタには、必ずジャンパ用コネクタを差し込んでおいてください。
 ※ 取り外したジャンパ用コネクタは、紛失しないように制御盤にテープなどで貼り付けておいてください。



(d) エマーゼンシスイッチの取り付けと接続

- ① 付属の取付板を用いて、エマーゼンシスイッチ本体をまぐさに取り付けてください。
 - ② エマーゼンシスイッチのリード線を、制御盤の[エマーゼンシスイッチ]コネクタに接続してください。
- ※ エマーゼンシスイッチを接続しないと開閉機は動作しません。



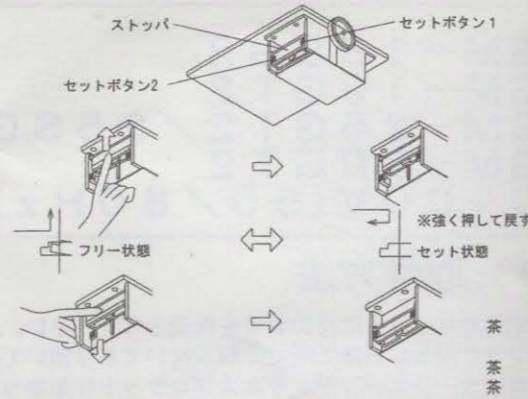
(e) 急降下停止装置の接続 (御前様/ポルティエ)

- ① 制御盤の[押しボタン2]コネクタに差し込まれているジャンパ用コネクタを外してください。
 - ② 急降下停止装置の制御線を[押しボタン2]コネクタに接続してください。
- ※ 取り外したジャンパ用コネクタは、紛失しないように制御盤にテープなどで貼り付けておいてください。

(f) リミットスイッチの設定

- ①ストップの中央部を押さえながらスライドさせ、ストップを外してください。
- ②セットボタンを両方とも押し込み、フリー状態にしてください。
- ③手動操作チェーンを使いシャッターを上限停止位置まで上げてください。
- ④上限停止位置でセットボタン1（左勝手の場合はセットボタン2）を強く押し、セット状態に戻してください。
- ⑤自重降下レバーを引き、シャッターを下限停止位置まで下げてください。
- ⑥下限停止位置でセットボタン2（左勝手の場合はセットボタン1）を強く押し、セット状態に戻してください。
- ⑦ストップをスライドさせて、元の位置に戻してください。

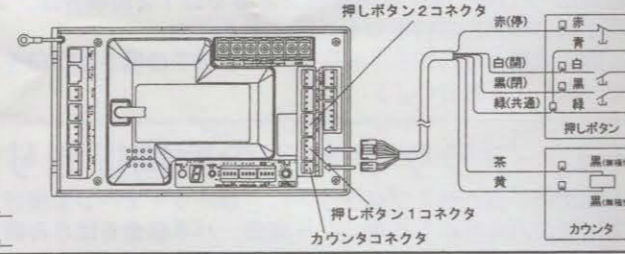
※MSS-4. 1を使用するときは、座板が床面より20mm下がった位置を下限停止位置にしてください。



(g) 押しボタンの接続

- ①付属の押しボタン線を制御盤の[押しボタン1]コネクタと[カウンタ]コネクタに接続してください。
- ②押しボタン、カウンタに押しボタン線を接続してください。

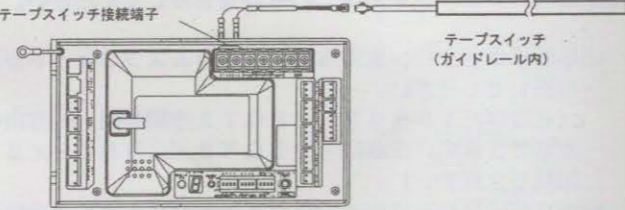
※押しボタンを追加する時は、[押しボタン2]コネクタに差し込まれているジャンパ用コネクタと押しボタン線を差し替えてください。押しボタン用、またはジャンパ用コネクタが差し込まれていないと開閉機は動作しません。



(h) MSS-H (テープスイッチ) の接続と設定

- ①テープスイッチ接続コードを制御盤の[テープスイッチ]接続端子にねじ止めしてください。

※MSS-4. 1、MSS-5の切り替えスイッチは「無」に設定してください。

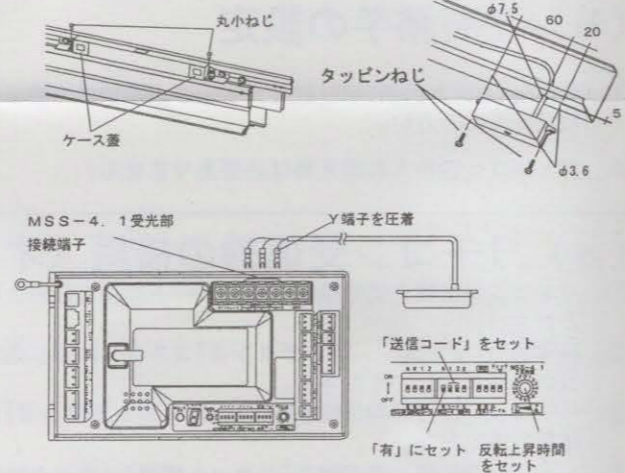


(i) MSS-4. 1の接続と設定

- ①MSS-4. 1送信機を送信機取り付け金具にねじ止めしてください。
- ②MSS-4. 1送信機両端にあるケース蓋を開けて内部のコネクタと座板スイッチのコネクタを接続し、ケース蓋を閉めてください。
- ③MSS-4. 1受光部をまぐさに取り付けてください。
- ④受光部のケーブル端末にY端子を圧着してください。
- ⑤受光部のケーブルを、制御盤の「MSS-4. 1受光部」端子にねじ止めしてください。（電線の色を合わせて接続する。）
- ⑥制御盤の[MSS-4. 1]切り替えスイッチを「有」に設定して、MSS-4. 1送信機と、制御盤のコード番号を合わせてください。
- ⑦制御盤の[MSS-4. 1上昇時間]設定スイッチで、反転上昇時間を設定してください。

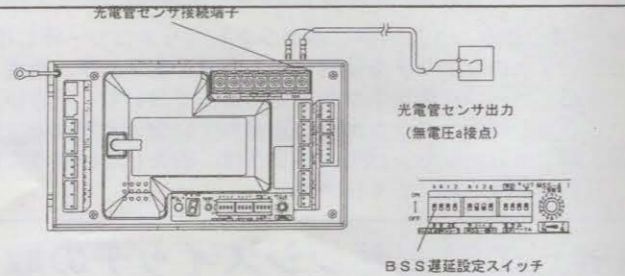
※近くに複数の送信機を設置するときは、誤動作しないように送信コードを変更してください。

※MSS-5の切り替えスイッチは「無」に設定してください。



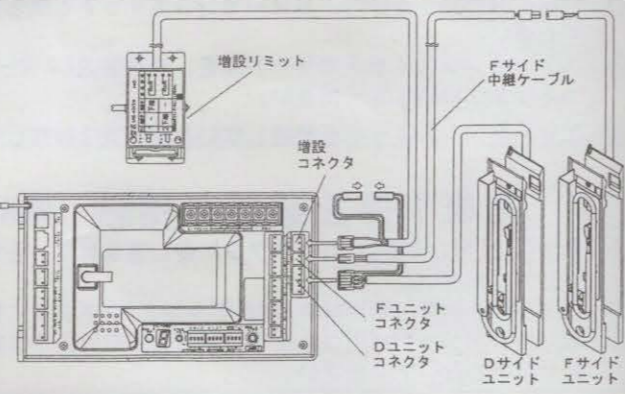
(j) 光電管センサの接続

- ①光電管センサのa接点出力(遮光時ON)を、制御盤の「光電管」接続端子にねじ止めしてください。（制御盤の設定は特にありません。）
- ※光電管センサはMSS-H、MSS-4. 1と併用可能です。
 ※光電管センサの電源は安全ブレーカの2次側などから取ってください。
 ※遅延設定は、下記用途以外には使用しないで下さい。
 ・雪を障害物と誤って検出する可能性がある場合
 ・シャッター動作中に座板が光電管センサの光軸を遮る場合



(k) MSS-5との接続と設定

- ①増設リミットのコネクタは、制御盤の増設コネクタおよびDサイドユニットのコネクタに接続してください。
- ②Dサイドユニットのコネクタを、制御盤のDユニットコネクタおよび、増設リミットのコネクタに接続してください。
- ③Fサイドユニットのコネクタは、Fサイド中継ケーブルを介して、制御盤のFユニットコネクタに接続してください。
- ④増設リミットの上限は、座板下面がまぐさから約80mmの位置で設定し、下限は、非接触ユニットが床面に到達する直前(約10mm手前)で設定してください。
- ⑤制御盤の[MSS-5]切り替えスイッチを「有」に設定してください。
 ※MSS-4. 1の切り替えスイッチは「無」に設定してください。



4) 開閉機の動作

(a) 電動動作

- ・押しボタン(リモコン)の「開」ボタンを押すとシャッターは上昇し、設定した上限停止位置で停止します。
- ・押しボタン(リモコン)の「閉」ボタンを押すとシャッターは下降し、設定した下限停止位置で停止します。シャッター下降動作ごとに、カウンタへの出力をします。
- ・シャッター動作中、押しボタン(リモコン)の「停」ボタンを押すと、シャッターは停止します。

(b) 障害物感知動作

- ・MSS-H ... シャッター下降中、座板が障害物に当たると、シャッターは反転上昇し、2秒後に停止します。
- ・MSS-4. 1 ... シャッター下降中、座板が障害物に当たると、シャッターは反転上昇し、設定した時間後に停止します。
- ・MSS-5 ... シャッター下降中、MSS-5の光電センサが物体を検出すると、シャッターは停止します。また、座板が障害物に当たると、シャッターは反転上昇し、2秒後に停止します。
- ・光電管センサ ... シャッター下降中、光電管センサが物体を検出すると、シャッターは停止します。

(c) 開閉機の状態表示

動作中は以下の表に従い、制御盤の[状態/動作回数表示ランプ]に開閉機の状態を表示します。



表示	表示時間	動作状態	表示	表示時間	動作状態	表示	表示時間	動作状態			
-	横バー中段	動作中点滅	停止ボタン短絡中	-	横バー上段	動作中点滅	開ボタン短絡中	-	横バー下段	動作中点滅	閉ボタン短絡中
u	英字「u」	動作中点滅	上昇中	d	英字「d」	動作中点滅	下降中				
1	数字「1」	作動中表示	サーマル停止	2	数字「2」	5秒間表示	MSS-4.1電池異常	3	数字「3」	5秒間表示	MSS-4.1停止
4	数字「4」	5秒間表示	MSS-H停止	5	数字「5」	5秒間表示	光電管停止	6	数字「6」	5秒間表示	リミット異常(未接続)
7	数字「7」	5秒間表示	上限停止中	8	数字「8」	5秒間表示	下限停止中	9	数字「9」	5秒間表示	中間停止中
A	英字「A」	5秒間表示	MSS-5 近接停止	b	英字「b」	5秒間表示	MSS-5 光電停止	F	英字「F」	作動中表示	12V電源短絡

(d) 動作回数カウンタの表示

- ①動作回数表示ボタンを1回押すと、制御盤の[状態/動作回数表示]ランプに、6桁の動作回数を表示します。

例) "0" → "1" → "2" → "3" → "4" → "5" と表示されたとき → 動作回数は1 2 3 4 5回

(e) 異常履歴の表示

- ①動作回数表示ボタンを2回連続して押すと、[状態/動作回数表示]ランプが"-"で点滅します。
- ②再度ボタンを押すと、以下の表に従い、異常の種類を表示します。
- ③さらに続けて押すと、その時の動作回数を6桁で表示します。
- ④以降、ボタンを押すごとに、異常の種類と、動作回数カウンタの表示を繰り返します。

異常の種類	表示
サーマルプロテクタが作動したとき。	E 1
下降中にMSS-H入力があったとき。	E 4
下降中に光電管センサ入力があったとき。	E 5
MSS-4. 1の電池切れ信号を受信したとき。	E 6
MSS-4. 1有りの時、下限リミットで停止したとき。	E 8
下降中にMSS-5近接センサ入力があったとき。	E A
下降中にMSS-5光電センサ入力があったとき。	E b
12V電源の短絡があったとき。	E F

5) 確認事項

施工完了後、以下の動作を必ず確認してください。

- ・押しボタン操作により、シャッターが開閉できること。
- ・手動操作チェーンを引くことで、シャッターが上昇/下降すること。(EGM-25GT2/25SG2/50GT2は上昇のみ)
- ・自重降下レバーを引くと、シャッターが下降すること。
- ・リミットスイッチで設定した上限停止位置、下限停止位置で正しくシャッターが停止すること。(MSS-4. 1使用時もリミットスイッチの下限停止位置で停止すること。)
- ・エマーゼンシスイッチが作動すると、シャッターが停止すること。
- ・障害物感知装置(MSS-H、MSS-4. 1、MSS-5、光電管センサなど)により、シャッターが停止すること。

6) 注意事項

- ・開閉機は水や雨がかからない様に処置してください。
- ・開閉機は必ず適用電源にて使用してください。
- ・開閉機は接地端子を使用して、必ず接地工事を行ってください。
- ・電動操作中に手動操作を行ったり、手動操作中に電源操作は行わないでください。
- ・開閉機や制御盤を分解したり、改造したりしないでください。